

## 1 平成26年4月1日から同年9月30日までの財政の状況

### (1) 財政の動向

平成26年度の一般会計歳入歳出当初予算は、502億8,900万円であり前年度に比べ約0.9%増、4億4,300万円増加している。

これは、新市街地地区小中学校用地取得事業や放射能対策事業において大幅に減額したものの、同小中学校建設事業や、市民総合体育館建替事業、私立保育所整備補助事業で事業費が増額したことが影響したものである。

また、6月の流山市議会第2回定例会において、市民総合体育館建替事業費は減額となったが、新市街地地区小中学校併設防災拠点整備事業や同地区小中学校建設事業、同地区おおたかの森センター整備事業、同地区図書館整備事業などの事業費が増額したことや、前年度からの繰越額を合わせて、9月末の予算現額は、523億5,631万6千円となっている。

なお、上期における予算額は、歳入では、昨年の9月末現在と比較すると、消費税増税と合わせて平成26年4月から自動車取得税の税率引下げにより自動車取得税交付金が大きく減少した。一方、つくばエクスプレス沿線整備事業の推進により人口が増加していることや、新市街地を中心に新築家屋の増加などにより市税等が増額となった影響で、6億1,361万4千円増額となっている。

また、歳出では、民生費が、臨時福祉給付事業や子育て世帯臨時福祉給付事業等の増額により19億7,496万1千円増額となる一方、消防費は、南消防署建設事業等の終了等により4億7,194万9千円の減額、教育費は、新市街地地区用地取得事業等の終了等により4億8,594万8千円の減額等により、予算現額は、昨年9月末現在と比べ6億1,361万4千円増額となっている。

一般会計と特別会計の9月末現在の執行状況は(3)収入及び支出の概況のとおりである。